

# グルモハル

JAPANESE SCHOOL  
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630

9 JULY/2024 NO4

合言葉は、「ムンバイ日本人楽幸！！」

笑顔あふれる楽しい幸せなムンバイ日本人学校

校長 佐藤 義朗

昨年度より、本校では持続可能な世界を創る担い手を育てるため、ムンバイの地にある日本人のコミュニティスクールとして、保護者をはじめ周囲の方々との協働で教育活動を展開してきました。それは、戦争、自然災害、温暖化等世界で起きている様々なことに対して、私たち人間が本気になって持続可能な世の中を目指し、その解決のために取り組んでいかなければならない時期にきているからです。子どもたちには世界で起こっている事象を他人ごとと捉えず、「自分たちに何ができるか？」を考えさせる教育活動を推進する必要があると思います。

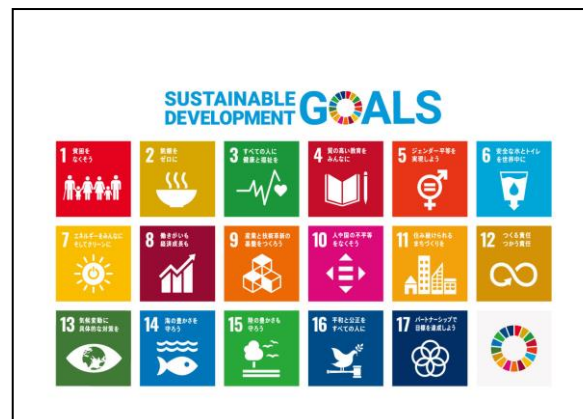
教育には、二つの基本的な考え方（目標）があると考えます。

一つは、教育を受ける側のもって生まれた能力を最大限に引き出すこと。もう一つは、家族・社会・国民・地球市民として、その引き出された個性・能力を社会化し、世の中に貢献する人材を育成すること。

この二つのバランスをとりながら、インドで生活しているというメリットを生かし、知・徳・体の三つにわたって教育をおこなっていくことが大切です。そして二つ目の具体的な指針となるものが、SDGsの17の項目の目標であると考えます。

ムンバイ日本人学校では今年度も17の目標を教育活動とリンクさせ「持続可能な未来」にするために、教師も子どもたちも「SDGsの17の目標」を教育活動と関連させ価値づけを行います。特にインドならではの貴重な体験、キャリア教育の充実、英語力の向上、体力向上、受験対策に重点を置いて取り組みます。人間が「笑顔で楽しい幸せ」と感じるのは、社会に貢献し、人のために役立ち、自己存在の意義を感じた時と考えます。このようにして、学校教育目標の「生きる力を身に付け、自ら学び

続けようとする、国際性豊かな児童・生徒の育成」の実現を図っていきます。





## 令和6年度ムンバイ日本人学校スタート!



元気なインド国歌が響き渡った入学式から1ヶ月。ムンバイ日本人学校の子どもたちは新たに加わった新入・編入児童生徒といっしょに、順調なスタートを切っています。

ムンバイ日本人学校では昨年から少しずつ新しいことにチャレンジし、授業や行事を通して子どもたちの成長を願い、取り組んできました。今年度もさらなるパワーアップを目指して進んでいきます。今までとは違った形や内容になることがあるかもしれませんが、皆様のご意見をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

【新入生代表誓いの言葉より】(抜粋)

中学生となった今、頑張りたいことが二つあります。一つ目は、英語の学習です。二つ目は、仲間とともに成長し、切磋琢磨していくことです。これからも仲間と共に成長していきたいと思えます。私たち新入生は、今日から始まる中学生生活に、期待と希望で胸を膨らませ、新たな一歩を踏み出そうとしています。ムンバイ日本人学校で過ごす一日一日を無駄にせず、実りあるものにするために、自分自身の行動に責任を持ち様々なことに挑戦していきたいです。



始業式 いよいよスタートです



中学部新入生 少し緊張してるかな



新入生歓迎の言葉 真剣に聞いてます

## 避難訓練・テロ対応訓練を行いました

先月は避難訓練(火災想定)・テロ対応訓練を行いました。いずれの訓練も、子どもたちは真剣に取り組み、落ち着いて行動することができました。避難訓練では「おかしもち」の合言葉を守ってハンカチで口と鼻を押さえ、低い姿勢で非難することができました。また、「煙の移動速度は人が歩く速さと同じくらいなので、スムーズな避難が大切になってくる」ことを学びました。

テロ対応訓練では、在ムンバイ総領事館から甲谷領事にお越しいただき、貴重なお話を伺うことができました。今回は、身を守るための歩伏前進も実際にやってみました。「テロリストは目立つものや動いているものを撃ってくる。そのためにも伏せた状態で頭を守り、足を開いてかかとを立てない格好にする。」ということでしたが、理にかなったものだと改めて感じました。



口と鼻をしっかり押さえて姿勢を低く



テロ対応訓練 目立たないようにします



姿勢をきちんとつくれました